

左の記事を読んで下の問いに答えましょう。

1 空欄Aに入る色を書きましょう。

2 空欄Bに入る数字を、小数点第1位まで書きましょう。

ヘクタール

3 藻場は海の環境を守る上で、どんな役割をはたしていますか。本文中から3つの大きな役割を読み取って、書きましょう。

魚の産卵や餌場、海水も浄化

大阪湾の藻場再生へ連携

兵庫県は、魚介などの産卵や餌の場となり、「海のゆりかご」と呼ばれる藻場の再生に向け、大阪府と連携会議を立ち上げた。水の浄化機能も持つ藻場は、県内大阪湾で1990年に比べ35.8％(14%)減少。生態系などへの影響が指摘されてきた。藻場の再生を通じ、海の環境改善とともに、「二酸化炭素(CO₂)の吸収源としての活用も視野に両府県で取り組みを強化する。(三宅晃貴)

今年24日に設立した「大阪湾ブルーカーボン生態系アライアンス(MOBA)」。

神戸・須磨沖の沿岸域に広がる藻場(須磨里海の会提供)



90年から14%減 兵庫県、府と会議設立

などの群生地。高度成長期の埋め立てや生活・工場排水の流入により、沿岸域で大幅に減った。海の生物の産卵や生育、餌場となるほか海水を浄化。プランクトンや小魚の減少などの一因とも指摘されてきた。

は、森林の「Aカーボン」に対し、「ブルーカーボン」と呼ばれる。吸収量は企業間でのCO₂排出量取引の対象となっている。県によると、県内大阪湾の藻場は1990年には247.9畝あったが、2014～15年にはB

にまで減少。播磨灘や紀伊水道などを合わせた県内瀬戸内海ではほぼ同時期に3割以上減ったという。県はこれまで、沿岸域でのアマモの植え付けなどに



取り組む民間団体に補助金を給付。昨年7月に発足した官民の「ひょうご豊かな海づくり県民会議」でも、藻場の保全・再生を活動項目に加えてきた。

県は、大阪府との連携会議設立と同時に、同県民会議内にMOBA部会を設置。藻場に関する情報発信や普及啓発▽新たな藻場の創出に向けた調査▽藻場が生物多様性に及ぼす効果の把握などを進める。海藻が付着しやすく凹凸を付けたコンクリートブロックの海底への設置も検討する。

兵庫県の斎藤元彦知事は「大阪湾沿岸で藻場をつなぎ、湾奥部では干潟も創出したい。2025年大阪・関西万博に向けたSDGs(持続可能な開発目標)にも資する」としている。

両府県の連携会議は、参加する企業や団体、行政機関などを募集している。県水気課 ☎078・362・3468

大阪湾に沈めていた凹凸を付けたコンクリートブロックには、多くの海藻が付着していた(森漁業協同組合提供)

NIEワークシートのこたえ（2024年2月1日公開）

◆ワークシート「大阪湾の藻場(理科 SDGs14)」 2024.1.30付 朝刊 6面 地域経済 解答

- 1 グリーン
- 2 212.1ヘクタール
- 3 海の生物の産卵や生育、餌場となる
海水を浄化する
CO₂を吸収する (同意可 順不同)